

日本バドミントン学会 第6回学会大会

プログラム

※大会参加者へは、別途抄録集を配布いたします。

日時：2023年3月5日（日）

場所：東京都立大学 南大沢キャンパス

JSBR 日本バドミントン学会
The Japanese Society for Badminton Sports

<大会概要>

期日：2023年3月5日 12:20-18:00

場所：東京都立大学 南大沢キャンパス 6号館 101 教室

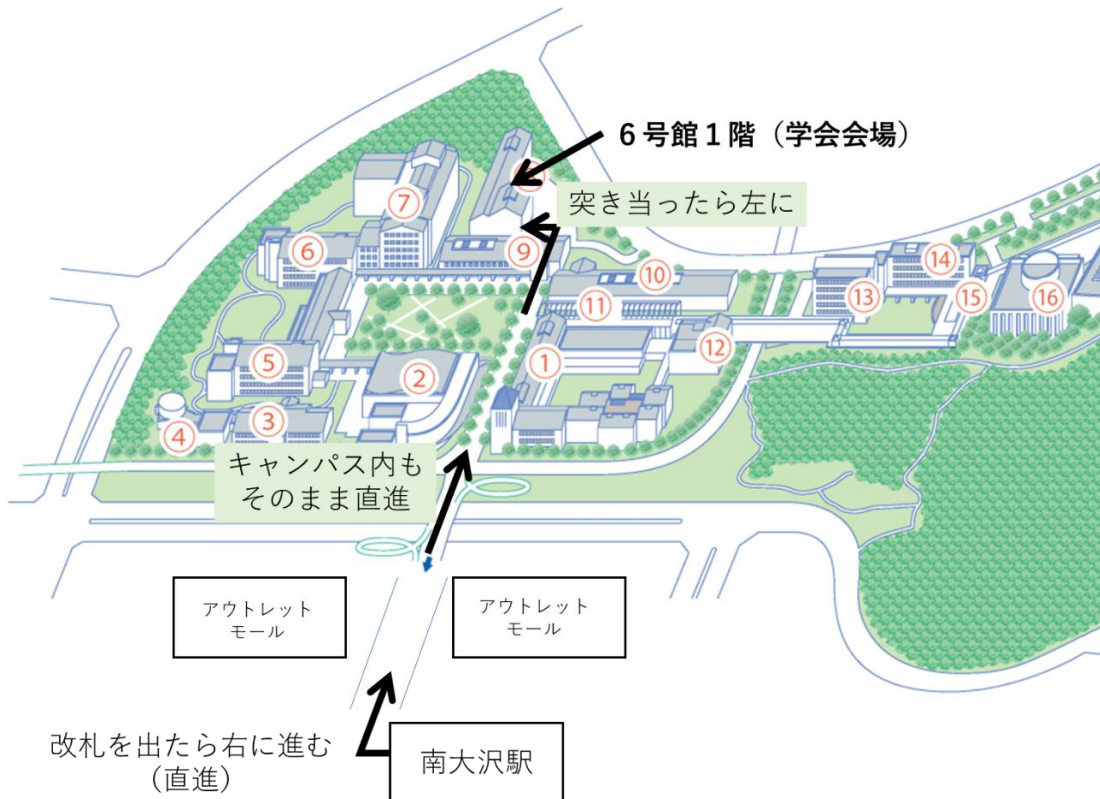
参加費：正会員 1,000 円 学生会員 1,000 円 非会員 2,000 円

大会長：金子 元彦（東洋大学）

<アクセスマップ>

会場：東京都立大学南大沢キャンパス 6号館 101 教室

アクセス：京王相模原線南大沢駅 徒歩約5分



<会場内でのお願い>

1. 講演会場内では、携帯電話をマナーモードにしてください。
2. 大会主催者側に許可のない講演の録音、写真撮影、ビデオ撮影は固くお断りいたします。
3. 開催会場及び主催者の実施する感染対策の実施にご協力ください。体調のすぐれない方のご参加はご遠慮ください。

<口頭発表に関するお知らせ>

1. 発表は以下の通りです。持ち時間の厳守をお願い致します。
一般 : 発表 11 分 質疑応答 5 分 計 16 分
学生セッション : 発表 8 分 質疑応答 3 分 計 11 分
2. 発表用 PC は、Windows PC (Power Point) を用いて行います。演者は、11:50~12:20 の間に発表用スライドデータを USB フラッシュメモリーにてご持参ください。万が一、主催者で準備する PC でうまく作動しない場合はご自身の PC でも可能ですが、その場合の PC ケーブルコネクタの形状は HDMI です。変換コネクタ等が必要な場合は、必ずご自身で準備してください。
3. 質疑応答は座長の進行のもと、氏名、所属を述べたのち質問してください。
4. その他、参加および発表に関して不明な点は、事務局 (jsbr.office@gmail.com) までお気軽にお問い合わせください。

○プログラム日程

(10:10 ~ 11:10	理事会)
(11:20 ~ 11:50	総会)
休憩	
12:20 ~ 12:30	開会式
12:35 ~ 14:05	シンポジウム
14:15 ~ 15:05	基調講演
15:10 ~ 15:57	一般演題発表① (学生セッション)
16:00 ~ 16:35	一般演題発表② (学生セッション)
16:40 ~ 17:47	一般演題発表③ (一般)
17:50 ~ 18:00	閉会式

<内容>

12:20～12:30 開会式

12:35～14:05 シンポジウム

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを振り返る

コーディネーター：金子 元彦（東洋大学）

「アスリートへの科学的サポートから東京 2020 を振り返る ～ハイパフォーマンス・ジムのアセスメント～」

山下 大地（ハイパフォーマンススポーツセンター）

「アスリート義足の研究開発事例紹介からボーダーレスなバドミントンワールドへ」

宮田 美文（ミズノ株式会社）

「チーム・ジャパンの再構築へ向けて」

吹田 真士（筑波大学）

14:15～15:05 基調講演

座長：中谷 敏昭（日本バドミントン学会会長/天理大学）

「バドミントンの初心者指導に関する研究の総括と今後の課題」

岸 一弘（共愛学園前橋国際大学）

15:10～15:57 一般演題発表①（学生セッション）

座長：藁科 侑希（東京経済大学）（発表 8 分，質疑 3 分）

S1-1 女子ダブルスにおけるリアコートからのストロークに関する一考察 —2019 年以降の日本代表選手と大学トップ選手を比較して—

大石悠生¹⁾，漆崎真子¹⁾，吹田真士¹⁾

¹⁾ 筑波大学

S1-2 車いすバドミントントップ選手におけるオーバーヘッドストロークのパフォーマンスに影響を与える要因 ～クリアのインパクト位置と身体角度に着目して～

新居花梨¹⁾，齊藤まゆみ¹⁾，吹田真士¹⁾

¹⁾ 筑波大学

S1-3 バドミントン・ダブルスにおいて守備陣形から攻撃へ転じる有効なレシーブコースの考察

中島 光人¹⁾, 林 直樹¹⁾
¹⁾ 仙台大学

S1-4 バドミントン・ダブルスにおける前衛プレーの比較 ～前衛プレーにおける連続打球に関する考察～

佐藤 倅心¹⁾, 林 直樹¹⁾
¹⁾ 仙台大学

16:00～16:35 一般演題発表② (学生セッション)

座長：西島 壮 (東京都立大学) (発表 8 分, 質疑 3 分)

S2-1 高強度間欠的運動前後の視覚機能に及ぼすビールートジュースの効果 - バドミントン選手を対象に -

佐川 智香¹⁾, 吉村 悠成¹⁾, 片桐 陽¹⁾, 松竹 涼子¹⁾, 田名辺 陽子²⁾,
小野 誠司¹⁾, 西保 岳¹⁾, 吹田 真士¹⁾, 藤井 直人¹⁾
¹⁾ 筑波大学, ²⁾ 東洋大学

S2-2 学生バドミントン・男子シングルスにおけるラリー時間と休息时间に関する検討
- インカレ上位選手と東北地区選手の比較 -

成田 行磯¹⁾, 林 直樹¹⁾
¹⁾ 仙台大学

S2-3 バドミントン競技における新規スタツツの考案および有効性の検証

須田 翔大¹⁾, 林 直樹¹⁾
¹⁾ 仙台大学

16:40～17:57 一般演題発表③ (一般)

座長：中谷 敏昭 (天理大学) (発表 11 分, 質疑 5 分)

O-1 打球速度の異なるバックハンドドライブ時の上肢関節運動の違い

清水 幹弥¹⁾, 山田 洋²⁾, 植村 隆志²⁾
¹⁾ 東海大学大学院
²⁾ 東海大学体育学部

O-2 元国際トップバドミントン選手および卓越したバドミントン指導者における技術の実践知に関する事例研究 - “脚（身体）で打つ”に着目して-

漆崎 真子¹⁾, 吹田 真士²⁾

¹⁾ 筑波大学大学院

²⁾ 筑波大学

O-3 大学体育バドミントン授業受講者の競技経験がオーバーヘッドストローク動作に及ぼす影響 - インパクト時に着目して -

藤野 和樹¹⁾, 升 佑二郎²⁾

¹⁾ 千葉商科大学

²⁾ 健康科学大学

O-4 大学カテゴリーバドミントンにおけるパフォーマンス向上の阻害要因に関する一考察 - T 大学バドミントン部女子チーム 2022 年シーズンに着目した単一事例研究 -

吹田 真士¹⁾, 漆崎 真子²⁾

¹⁾ 筑波大学

²⁾ 筑波大学大学院

17:50~18:00 閉会式